

四ッ木柳先生へ

突然のお手紙失礼いたします。約1年前に最後に
診ていただきました東京都 [redacted] の [redacted] へ申します。

先日、薬剤師国家試験に合格し、4月から都内の病院で
薬剤師として働くことになりました。

新たな生活が始まるこのタイミングで、四ッ木柳先生に
出会えたこと、そして素敵な耳を作っていただいたことへの
感謝をお伝えしたく、お手紙を書かせていただきました。

当時、小学生でまだ幼かった私は、自分の耳が周りとは違
うことや、自分だけ手術を受けなければならぬという事実を
受け入れられずにいたことを、今でも覚えています。

しかし、2度の手術を終え、きれいだからいい耳を見たこと
の感動は、それ以上に鮮明に記憶に残っています。



先生との出会いや手術を受けた経験は、私を大きく変えて
くれました。

最も大きな変化は、自分の自信が持てるようになったことです。
それまでは、髪を糸結びにせよ風で耳が見えてしまうことが嫌で、
自分を隠して過ごしていました。ですが、先生が素敵なお耳を
作ってくれたおかげで、自分の耳を「個性」として受け入れ、
堂々と過ごせるようになりました。

中学生の頃、部活動で初めて髪を結んだとき、周囲から
耳について何が言われることはありませんでした。それが
私にとってはとても嬉しく、「案外周りには気にしていないのかも
しれない」と思えるようになりました。

また、入院や手術は、薬剤師という夢のきかけにも
なりました。入院を経て、当時は漠然と「病院で働く人にな
りたい」と考えていましたが、様々な職種を言問べる中で、
薬剤師を志すようになりました。



手術をしたことも今ではポジティブに捉えることができます。
痛みや不安を経験したからこそ、患者さんに寄り添える
薬剤師になりたいと考えています。

先生は、私の耳だけでなく、人生も変えてくださいました。
本当にありがとうございました。
今後も、先生に作っていただいた耳を大切にしながら、
日々を過ごしてまいります。

改めまして、心より感謝申し上げます。

末筆ながら、先生のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

2026年4月

東京都

